

〈研究ノート〉

## ナーナイ語のAspect

風間 伸次郎

ナーナイ語はツングース諸語の1つである。ツングース諸語は、類型的にみて日本語にもよく似たタイプの言語で、もっぱら接尾辞による膠着型言語である。語順は Head-final, つまりSOVで修飾語-被修飾語の語順をとる。基本的にIPAをベースにした音素表記によるが、一音素一文字の原則などの理由から、次のような独自の音素表記も用いている: č[tc], j[ɕ], ŋ[n].

コンサルタントは Kile, Lidiya Timofeevna 氏(1938年, ナイヒン村生まれ, 女性)である。調査はロシア語を媒介言語にして行った。日本語文の下の[ ]内に使用したロシア語文を示す。

以下には、まず簡単にナーナイ語の動詞の形態論について述べておく。動詞は、[[語幹](-派生接辞)-[屈折接辞 1]-[屈折接辞 2]]のような構造をとる。派生接辞は任意、屈折接辞は基本的に必須である。屈折接辞 1 は法・時制を示し、屈折接辞 2 は人称を示す。屈折接辞 2 は、屈折接辞 1 の種類によっては現れない場合もある。ここでは本稿の理解に必要なテンス・Aspectに関連するパラダイムを示す。すなわち、具体的には、Aspectを示す派生接辞と、直説法のテンスを示す屈折接辞 1 である。屈折接辞 1 は、形動詞と定動詞に分かれる。形動詞は、名詞的にも形容詞的にも用いられるが(国語学的に言えば、連体用法と準体法の用法を持つが)、文末の述語としても用いられる形である。人称接辞はとらないこともある。定動詞はもっぱら文末にのみ用いられ、命令法など他の法の形式と対立する。話者が直接に観察した行為について用いられ、1, 2 人称の行為に用いられることが多い。人称接辞は必須である。以下で、大文字の A, O はそれぞれ母音調和 (a~ə, o~u) による異形態を代表するものとする。

・Aspectを示す派生接辞

反復・反動	-gO-
始動[1]	-lO-
始動[2]	-psin-
分配	-ktA-
多回・継続	-(A)či-

継続	-si-
多回	-nAsi-
習慣	-lsi-

・屈折接辞 1 (形動詞)

		単母音語幹	長母音語幹 ・連母音語幹	子音語幹 (-n/-l/-r)	子音語幹 (-p)
人称 形動詞	肯定現在	-i	-rii	-dii	-tii
	肯定過去	-xAn		-kin	
	否定現在	-Asi(n)	-rAsi(n)	-dAsi(n)	-tAsi(n)
	否定過去	-Ači(n)	-rAči(n)	-dAči(n)	-tAsi(n)
非人称 形動詞	肯定現在	-Ori		-bOri	-pOri
	肯定過去	-OxAn		-bOxAn	-pOxAn
	否定現在	-wAsi		-bOwAsi	-pOwAsi
	否定過去	-wAči		-bOwAči	-pOwAči

・屈折接辞 1 (定動詞)

		単母音語 幹	長母音語幹 ・連母音語幹	子音語幹 (-n/-l/-r)	子音語幹 (-p)
直説法	現在	-(r)A(n)-	-rA(n)-	-dA(n)-	-tA(n)-
	過去	-kA-		-kA-	-kA-
	未来	-jAA(n)-			
	過去複数	-xAAl			

以下には、アンケートにより得たデータを示す。

(1) ~さん (固有名詞) は/あの方は もう来た。

[Тот человек уже пришел.]

tai nai ələə/ələə=dəə ji-či-ni.

その人 もう/もう=CLT 来る-PAST.PTCP-3SG

コンサルタントによれば、「思ったよりも早く来てしまった」というニュアンスがあ

るという。この言語には（現在と切り離された）過去形と区別された不完結相（いわゆるパーフェクト、現在とのつながりを示す完了）形は存在しない。

(2) ~さん（固有名詞）は／あの人は もう来ている。

[Тот человек уже пришел.]

(1)と同じ。そもそもロシア語の調査文が(1)と同じになってしまうため、調査が不可能であった。

(3) ~さん（固有名詞）は／あの人は まだ来ていない。

[Тот человек еще не пришел.]

təi nai əčɪə(=dəə) ji-də.

その 人 NEG.PAST.PTCL(=CLT) 来る-INF

(4) ~さん（固有名詞）は／あの人は まだ来ない。

[Тот человек еще не пришел.]

(3)と同じ。(2)と同様、そもそもロシア語の調査文が同じである。

(5) ~さん（固有名詞）は／あの人は もう（すぐ）来る。

[Тот человек скоро придет.]

təi nai ələə ji-dii.

その 人 もう 来る-PRS.PTCP

近未来のできごとは、現在形動詞形で表せることがわかる。特に近未来に特化した特別な形式は無い。過去形はこのような場合にはどれも使えない。

(6) (あつ,) ~さんが来た。 [その人が来るのに気づいた場面での発話]

[A! Саша пришел!]

Sasha ji-čɪn.

サーシャ 来る-PAST.PTCP

現在進行中の動作でも過去形が使えることがわかる。ただしロシア語に引かれた可

能性も考えられる。

(7) 昨日、～さんが来たよ。

[Вчера Саша приходил.]

čisəniə    Sasha    pulsi-xən.  
昨日        サーシャ    行き来する-PAST.PTCP

(8) おととい、～さんは来なかったよ。

[Вчера Саша не приходил.]

čisəniə    Sasha    əčičə        pulsi-ə.  
昨日        サーシャ    NEG.PAST.PTCL    行き来する-INF

(9) (私は) あのリンゴをもう食べた。

[Я уже съел то яблоко.]

mii    (ələə)    təi    amtaka-wa    sia-xam-bi.  
私    もう    その    木の実-ACC    食べる-PAST.PTCP-1SG

(10) 私はあのリンゴをまだ (a)食べていない／(b)食べない。

[(a)Я еще не ел то яблоко. / (b)Я пока не буду есть то яблоко.]

mii    təi    amtaka-wa    əčičə        sia-ra-i.  
私    その    木の実-ACC    NEG.PAST.PTCL    食べる-INF-1SG

mii    təi    amtaka-wa    əsiəni/əsi    sia-rasim-bi.  
私    その    木の実-ACC    今        食べる-NEG.PRS.PTCP-1SG

そのできごとがまだ単に生じていない場合には、上の文のように否定小詞による分析的な形を用い、意志的に食べない場合には、2つ目の文のようにののように総合的な形の否定現在形を使っていることがわかる。ただしこの点に関してはさらなる検討を要する。

(11) あの人は今（ちょうど）そのリンゴを食べています／食べているところです。

[Тот человек (как раз) сейчас ест то яблоко.]

tai nai əsi tai amtaka-wa sia-rii-ni/sia-ɟaraa.

その人 今 その 木の実-ACC 食べる-PRS.PTCP-3SG/食べる-FUT.IND

tai nai ələə tai amtaka-wa sia-rii-ni/sia-ɟaraa.

その人 もう その 木の実-ACC 食べる-PRS.PTCP-3SG/食べる-FUT.IND

この言語に現在進行を表わす特別な形は無く、形動詞によって示すことがわかる。現在進行の意味はもっぱら əsi「今」によっている。直後に行う動作にも未来形が用いられることがわかる。

(12) 窓が開いている。／窓が開いていた。

[Окно открыто. / Окно было открыто.]

paawa nixəli-ktu.

窓 開く-ADJVLZ

paawa nixəli-ktu bi-či-ni.

窓 開く-ADJVLZ COP-PAST.PTCP-3SG

何らかの行為の結果として、対象物が一定の状態を保っている場合、このように形容詞化で表現できることがわかる。ただしおそらくは全ての動詞がこのように形容詞化できるわけではない。

Avrorin(1961: 202)には、11行ほど、この接辞についての記述がある。そこでは、これをいくつかの動詞から形容詞を派生する接辞としている。行為の結果など物の静的状態を示すものとし、次のような例をあげている：jakči-kto「施錠された」、dasi-kto「閉まった」、nixəli-ktu「開いた」、xumia-ktu「(雪や砂で)覆われた」、məŋgələ-ktu「銀メッキされた」、ajsila-kto「金メッキされた」、xolgo-kto「乾いた」、nia-kto「腐った」、xočia-kto「もつれた」、soli-kto「混ざった」

(13) 私は毎朝新聞を読む／読んでいる。

[Я каждое утро читаю газету.]

mii čimii taon-do-a-ni gazeta-wa xola-i-ji.  
私 朝 ～毎-DAT-E-3SG.POSS 新聞-ACC 読む-PRS.PTCP-1SG

モンゴル語やトルコ語などと違い、現在の習慣についても、これを示す特別な動詞形はこの言語には存在しない。現在の習慣はやはり時の副詞によって示される。

(14) あなたは（あなたの）お母さんに似ている。

[Ты похожа на (свою) маму.]

sii balji-ča-si əni-si=mət bi-i.  
あなた 生まれる-PASS.PTCP-2SG 母-2SG.POSS=CLT COP-PRS.PTCP

sii ənim-bi=mət balji-xa-si.  
あなた 母-REF.SG.POSS=CLT 生まれる-PAST.PTCP-2SG

「似る／似ている」という意味の動詞がこの言語には存在しないため、「母のようである」もしくは「母のように生まれついた」のような表現になっている。

(15) 私はその頃毎日学校へ通っていた。

[В то время я каждый день ходил в школу.]

təi ərkiə/ərki-du mii ini taon-do-a-ni  
その 頃 / 頃-DAT 私 日 ～毎-DAT-E-3SG.POSS

shkola-či pulsi-xəm-bi/pulsi-kə-i.  
学校-DIR 行き来する-PAST.PTCP-1SG / 行き来する-PAST.IND-1SG

過去の習慣に関しても、やはり特別な動詞形は存在しない。習慣の意味の実現は時の副詞による。

- (16) 私は～に（大きな街の名前など）行ったことがある。

[Я бывал в Москве.]

mii Moskva-do bi-čim-bi/bi-čə-i-ə.  
私 モスクワ-DAT いる-PAST.PTCP-1SG / いる-PAST.IND-1SG=CLT

経験の意味を示す特別な形式も存在しない。

- (17) やっとバスは 走り出した／走り始めた。

[Наконец-то автобус тронулся с места.]

əsi=mət avtobusa ənə-psij-ki-ni.  
今=CLT バス 行く-INCH-PAST.PTCP-3SG

動作の開始（始動相）を示すためには、動詞の文法的派生接辞（語幹拡張接辞）である -psin- が用いられる。ただしこれがつく動詞は語彙的に制限されている。

- (18) きのう彼女はずっと寝ていた。

[Вчера она весь день спала.]

čisəniə ŋoani iniə tiap/ʃək ao-xa-ni/ao-ka=tanii.  
昨日 彼/彼女 日 ～中ずっと 寝る-PAST.PTCP / 寝る-PAST.IND=CLT

長時間の継続を示す特別な動詞形も存在しない。同じツングース諸語のうち、エウエン語には動詞の文法的派生接辞（語幹拡張接辞）に長時間継続を示すもの (-jAAn-) がある。付属語 =tAnii は推量のニュアンスを持つ。したがって ao-ka=tanii は、「寝ていたのだろう」と、自分が考えている場合に用いる。確実な事実である場合や、他人から聞いて知った場合には用いることはできないという。

- (19) 私はそれをちょっと食べてみた。

[Я немного попробовал это.]

mii ča-wa ŋanga amta-la-ka-i/amta-la-xam-bi.  
私 それ-ACC 少し 味-VBLZ-PAST.IND-1SG / 味-VBLZ-PAST.PTCP-1SG

名詞を動詞化する接辞のうち、-la- は基本的に一回的な、短時間に行われる動作を示す。

(20) あの人はそれ(ら)をみんなに分け与えた。

[Тот человек поделил это на всех.]

tai nai ča-wa nai taon-do-a-ni  
その 人 それ-ACC 人 ~毎-DAT-E-3SG.POSS

obola-xa-ni/obola-cta-xa-ni.

分ける-PAST.PTCP-3SG / 分ける-DIS-PAST.PTCP-3SG

動詞の文法的派生接辞（語幹拡張接辞）である -cta- は、目的語が多数である場合や、動作が多方向へ向かって行われる場合に用いられる。

(21) さあ、(私たちは) 行くよ！

[Ну что, пошли!]

gəə, ənə-gu-əri.  
さあ 行く-COHOR-REF.PL

このような場合に、ロシア語のように過去形を用いることはできない。

(22) 地球は太陽の周りを回っている。

[Земля вращается вокруг солнца.]

naa/boa siun jakpa-wa-ni kəəndəli-mi ənə-i-ni.  
大地/世界 太陽 周り-ACC-3SG.POSS 回る-SIM.CVB 行く-PRS.PTCP-3SG

恒常的真理を示す特別な動詞形も存在しない。現在の形動詞で表現されることがわかる。



(23) あの木は今にも倒れそうだ.

[Это дерево может упасть в любую минуту.]

təi moo ələə tuu-rii.

あの 木 もう 倒れる-PRS.PTCP

təi moo ələə tuu-ʃərəə.

あの 木 もう 倒れる-FUT.IND

将然相は、時間的な副詞 ələə によって表現されることがわかる。その場合、動詞は単なる現在形動詞形か、直説法の未来形になっている。

(24) (私は) あやうく転ぶところだった.

[Я чуть не упал.]

mii kətələə tuu-ka-i/tuu-xəm-bi.

私 危うく 転ぶ-PAST.IND-1SG / 転ぶ-PAST.PTCP-1SG

将然的でも未遂に終わった場合では、別の副詞 kətələə が用いられる。ロシア語のように否定の形式は現れない。

(25) 明日お客が来るので、パンを買っておく.

[Завтра придут гости – нужно купить хлеба.]

čimanaa andaxa ʃi-dii, əpəəm-bə ga-mi aja.

明日 お客 来る-PRS.PTCP パン-ACC 買う-SIM.CVB 良い

čimanaa andaxa ʃi-dii, əpəəm-bə ga-ori.

明日 お客 来る-PRS.PTCP パン-ACC 買う-IMP.PTCP

ga-mi aja は逐語的に訳すと「買うと良い」もしくは「買って良い」となるが、そのニュアンスはさらに強いもので、「買わなければならない」のような意であるという。翻訳の元となったロシア語の文にも нужно 「(～することが) 必要だ」が含まれていることに注意されたい。ga-ori は非人称形動詞と呼ばれている形式で、「買うべきだ」のような意味を実現することが多い。日本語の「～ておく」のように、別の事態のために何らかの行為を前もってしておくことを示す特別な形式は無い。

(26) (私は) ~に (街とか市場とか) 行った時, この袋を買った.

[Я купил эту сумку когда ходил на рынок.]

mii əi sumka-wa rynka-či pulsi-i-du-ji  
私 この 袋-ACC 市場-DIR 行き来する-PRS.PTCP-DAT-REF.SG.POSS  
ga-čim-bi.  
買う-PAST.PTCP-1SG

この言語の複文のテンスは、基本的に相対テンスのシステムであると考えられる。したがって時制の一致は働かず、この文でも従属節の動詞には現在形が現れている。日本語ほど主節の動詞との前後関係は重視されないようで、この文では従属節に過去形は現れていない。コンサルタントによれば、従属節に過去の形動詞形を用いることもできるが、そのような言い方はまれであるという。

(27) (私は) ~に (街とか市場とか) 行く時/行く前に, この袋を買った.

[Я купил эту сумку по дороге на рынок/ перед тем как пойти на рынок.]

mii əi sumka-wa rynka-či ənə-i-du-ji  
私 この 袋-ACC 市場-DIR 行く-PRS.PTCP-DAT-REF.SG.POSS  
ga-čim-bi.  
買う-PAST.PTCP-1SG

(28) (私は) 彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた.

[Я знал о том, что он купил эту сумку на рынке.]

mii saa-ka-i=a/saa-xam-bi,  
私 知る-PAST.IND-1SG=CLT / 知る-PAST.PTCP-1SG=CLT  
ňoani təi sumka-wa rynka-do ga-či-ni.  
彼 その 袋-ACC 市場-DAT 買う-PAST.PTCP-3SG  
mii saa-rii-ji/saa-ram-bi,  
私 知る-PRS.PTCP-1SG / 知る-PRS.IND-1SG=CLT  
ňoani təi sumka-wa rynka-do ga-či-ni.  
彼 その 袋-ACC 市場-DAT 買う-PAST.PTCP-3SG

なお査読者から有益なコメントをいただいた。筆者の力不足のため十分に反映できなかった点もあるが、ここに記しお礼申し上げたい。

#### 略号・記号

= 付属語境界／1(1<sup>st</sup> person) 1 人称／3(3<sup>rd</sup> person) 3 人称／ACC(Accusative case) 対格  
／ADJVLZ(Adjectivalizer) 形容詞化／CLT(Clitic) 付属語／COP(Copula) コピュラ／  
COHOR(Cohortative mood) 勧誘法／DAT(Dative case) 与格／DIR(Directive case) 方向格  
／DIS(distributive) 分配アスペクト／E(Epenthetic vowel) 挿入母音／FUT(Future) 未来  
／IMPERS(Impersonal participle)非人称形動詞／INCH(Inchoative) 開始アスペクト／  
IND(Indicative mood) 直説法／INF(Infinitive) 不定形／NEG(Negative) 否定／PAST(Past)  
過去／PL(Plural) 複数／POSS(Possessive) 所有人称／PRS(Present) 現在／  
PTCL(Particle) 付属語／PTCP(Participle) 形動詞／REF(Reflexive) 再帰人称／  
SG(Singular) 単数／SIM.CVB(Simultaneous converb) 同時副動詞／VBLZ(Verbalizer) 動  
詞化

#### 参考文献

Avrorin, V. A. 1961. *grammatika nanajskogo jazyka, tII*. AN SSSR, Moskva/Leningrad.